

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 85%

職員の意見

○環境・体制整備

・事業所の構造上使用が難しかったエレベーターを、管理できる範囲で使用することにより、階段の使用を減らすことができた。いままで階段で事故は起きていなかったが、より安全に入退室ができるようになった。体制については、人員基準は満たしているものの、曜日によっては送迎の調整や配置の工夫が必要となるため、近隣教室と連携して対応している。

○業務改善

・業務前ミーティング時に利用者をピックアップし、全員で利用者の特性、前回利用時の状況やその他の環境要因を基に具体的な支援方法を話し合う事で、利用者一人ひとりの認識について共有し、統一した支援ができるようにした。

○適切な支援の提供

・個別の支援に関しては利用者の支援内容を職員で話し合い、その日の療育方法を決定する。集団療育の活動内容は、前月までに当月のスケジュールを決めておく。また、半年に一度保護者と面談を行い、要望を伺ったうえで個別支援計画を作成している。

○関係機関や保護者との連携

・保護者との連携は、主に送迎時に生徒の状況について報告を行っている。その際に相談内容に応じ、家庭内連携という形で別途時間を設け、相談しやすい環境を構築できるよう努めている。学校や相談支援事業所との連携は、普段は送迎時連絡やモニタリング時に行い、必要に応じて担当者会議を行うなど連絡できる体制を整えている。

○保護者への説明責任等

・今年度も感染拡大防止の観点から、保護者会を制限しているため、今後、開催方法を検討するとともに、ニュースレターやブログで伝えていく。

○非常時等の対応

・緊急時対応マニュアルなどについては、保護者への周知が不十分のため、新年度や季節ごとに資料を配布することで周知の徹底を検討している。また、避難訓練の様子もブログなどで紹介してゆく。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・職員の配置や専門性について肯定的な意見を多くいただいた。活動などのスペースが十分に確保されているかの質問や、バリアフリー化の配慮についての質問は、教室内をよく見ていないので、何とも言えないという意見も頂いている。
- ・複数の利用者様が不安定になった際に、職員の人数が足りているのかとのご意見をいただいた。状況を見て職員間で連携をとりながら対応を行っている。

○適切な支援の提供

- ・ニーズや課題が分析されたうえでの放課後等デイサービス計画の作成や、活動プログラムの工夫については満足されているという意見を多くいただいている。放課後児童クラブや障がいのない子供との活動については、必要ないという意見も頂いている。

○保護者への説明等

- ・保護者との、子どもの発達や課題についての共通理解の項目について、多くの肯定的な意見が頂けた。保護者会の開催等の項目については、出来ていないとの意見もいただいている。感染拡大防止を考慮しつつ、状況を見て今後開催できるよう検討していく。

○非常時等の対応

- ・非常災害の訓練については、毎月避難訓練を実施していることもあり適切な対応ができているとの肯定的な意見を多くいただいている。しかし、各種マニュアルの周知、説明については昨年と比べ改善傾向ではあるものの、十分ではないとの意見もいただいている為、資料の配布等より周知を図る。

○満足度

- ・満足度については概ね肯定的な意見を頂いており、「子供が毎回とても楽しみにしてしている」とのご意見もいただいた。今後も同様の意見を頂けるよう、生徒が楽しみつつ、良い療育ができるよう真摯に努める。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・感染症拡大状況を鑑みながら、療育参観できる保護者会などを開催することで、職員の体制や、療育活動の周知を図るとともに、保護者同士の交流の場を設ける。
- ・ニュースレターやブログを活用し、避難訓練の様子や非常時の対応について紹介する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者会については、感染拡大防止の観点から実施できていない。保護者の要望を確認しながら、小規模での実施等、実現可能な内容を検討していく。
- ・職員体制の変化もあり、ブログの更新が満足に行うことが難しかった。ニュースレターの余白等、可能な範囲で少しずつ療育活動の様子、避難訓練や非常時の対応などについて発信していきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・アセスメントを適時行い、生徒の特性や課題に合わせた個別支援計画を作成し、支援を提供することが出来ている。
- ・療育活動を非常勤も含めた全職員が担当することで、固定化することなく行えている。また、同じ支援感を持って療育の質を高められるよう努めている。
- ・支援の内容や利用者負担などの共有について、丁寧な説明ができています。また、面談や助言の支援も進撃に努めている。

○改善点

- ・保護者会等を開催することで、保護者同士の交流の場を提供する。
- ・他機関との交流ができるようなイベントの策定。
- ・各種マニュアルの周知。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会の開催方法の検討、感染対策に留意した上での実施。
- ・ブログやニュースレターの内容について充実させ、教室環境や活動内容、療育の様子、各種マニュアルの周知を図る。
- ・感染対策に留意した上で、地域施設の見学等、地域に開かれた運営を行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・感染症拡大状況を鑑みながら、療育参観できる保護者会などを開催することで、職員の体制や、療育活動の周知を図るとともに、保護者同士の交流の場を設ける。
- ・ニュースレターやブログを活用し、避難訓練の様子や非常時の対応について紹介する。
- ・祝日や長期休みに課外活動の企画・実施を行う。